

明治安田生命 2010年度入社式 社長挨拶（要旨）

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、563人（総合職158人、特定総合職^{※1}152人、アソシエイト職一般事務コース^{※2}253人）の新入職員を迎え、入社式を行ないました。以下のとおり、社長挨拶の要旨をお知らせします。

時代の変化を敏感に読み取り、新たな挑戦を

- 日本経済は、デフレの長期化懸念等から雇用・所得環境は厳しい状況が続き、金融市場においても不安定な相場環境が続く可能性があるなど、依然として楽観を許さない状況が続いている。
- 生命保険業界も大きな環境変化に直面している。少子高齢化やお客さまニーズの多様化等がますます進み、生命保険マーケットは目まぐるしく変化している。また、保険会社に関わる規制・ルール等も社会や経済の情勢などに応じ常に変わっていく。
- 当社の次代を担うみなさんには、この激しい時代の変化を敏感に読み取ることのできる感性を磨き、当社の持続的な発展のために新たな挑戦をしていってほしい。

「明治安田チャレンジプログラム」の総仕上げを行なう重要年度

- 今年度は、お客さま満足度向上を徹底的に追求し、安定的な成長の実現をめざす3ヵ年の取組み「明治安田チャレンジプログラム」の最後年度であり、総仕上げを行なう極めて重要な年度である。
- 個人営業改革を中心とし、これまで2年間の取組みによる成果は着実に現れているが、今年度の総仕上げによって確かな成果を出し、次なる新たな成長ステージを見据えた進化を遂げなければならない。
- みなさんも、私たちのすべての判断・行動の基準は常にお客さま目線に置かなければならないことをしっかりと理解し、本プログラムの完遂に向け大いに活躍してほしい。

みなさんに期待すること

【自ら考え、自ら状況を突破する力が必要】

学生時代の勉強では、教科書や参考書があり、そして先生がいた。しかし仕事においては、最初はマニュアルや先輩という先生はいるものの、いずれはそれらに頼ることができない、教わったことだけでは対処できない局面に必ず立たされる。みなさんには、あえて自分に厳しく接し、そうした状況にあった場合でも、自ら考え、自ら状況を突破していくことのできる職員になってほしい。

【グローバルな活躍を期待】

少子高齢化や人口の減少が進行する日本において、生命保険会社が安定的な成長を維持していくためには、新たな市場拡大の可能性が広がる海外に目を向けることも重要な選択肢である。みなさんも、常日頃からグローバルな視点を大切に、新たな事業を、しかも海外で作り上げていくという気概を持って仕事に臨んでもらいたい。

【「高い目標」を持って成長し続ける】

当社は、「常に新しい時代に求められる生命保険会社であり続ける」という高い目標を持ち、パイオニア精神を絶やさず常に新たな商品・サービスを開発し、成長してきた。みなさんにも、容易に実現可能な目標ではなく、自己の成長を促し続けるような「とてつもなく高い目標」を持ってほしい。みなさんの持つ無限の可能性を自ら制限することなく、成長し続ける人間であってほしい。

※1. 特定総合職は、生命保険事業の中核業務（個人営業分野・法人営業分野）を中心に幅広い職務を担当。転居を伴う異動が多い。

※2. アソシエイト職一般事務コース（旧一般職）は、生命保険事業に関わるお客さまサービスならびに事務対応全般を担当。転居を伴う異動が多い。